



港区新橋5-15-5 国鉄労働組合中央本部 03-5403-1640



2026春闘勝利! 国労中央総行動

26春闘勝利に向け職場で出来ることから闘いを起こそう

国労本部は、26年春闘を組織一丸となって闘うために、3月3日に「2026春闘勝利! 国労中央総行動」を取り組んだ。

◆政党要請

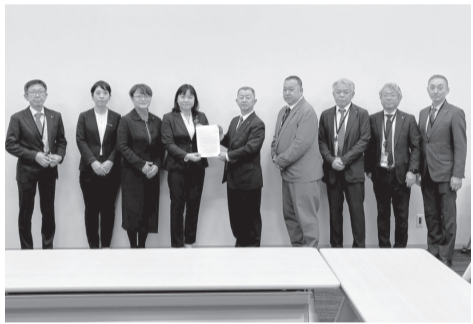
政党要請は二班に分かれて行った。

1班は宮崎浩則委員長(本部)を班長に、岩元孝信書記長(本部)、岩村儀一委員長(北海道)、伊藤隆夫委員長(東日本)、綾与利男書記長(四国)、原田浩幸委員長(九州)で、中道改革連合、立憲民主党、社民党、国民民主党に要請を行った。



中道改革連合要請

邦衆議院議員・原田直樹衆議院議員、立憲民主党では岸真紀子参議院議員を筆頭に、小島智子参議院議員・山内佳菜子参議院議員、国民民主党では党事務局(坂野様)、社民民主党では福島参議院議員(党首)・ラサール石井参議院議員が、



立憲民主党要請

とりわけ国労側からは、どこの会社でも共通している要員不足、若年者の離職・転職の現状を訴えるとともに、地域公共交通の確立に向け、公共インフラとしての位置づけを国としてしっかりと持っていたら、働きかけと取り組みを要請した。



社会民主党要請

里見議員をはじめ参加した各議員からは、約四半世紀にわたって戦われてきた1047名問題や尼崎事故に対し強い懸念が出され、安全・安心を行わせるために今後も具体的要望を聞いて取り組みたいとの話がされた。



日本共産党要請

共産党では秘書の柁(かこい)さんと寺下さんに対して、



公明党要請

毎年春闘時に政党要請を行っているが、秋に行っている国交省要請のみならず、安全・サービス問題を含めて、大きな事象が発生した時には情報交換を含めて要請することが重要となっている。

い。(瀧)

それぞれ真摯に対応していただいた。宮崎中央執行委員長からのあいさつに始まり、岩元書記長による要請概略説明、各エリア代表による特情の説明を行い、政党側からの質問をいただき意見交換を深めた。

2班は佐藤治副委員長(本部)を班長に、植田誠委員長(東海)、大北真也書記長(西日本)、因泥一議長(全貨協)で日本共産党、公明党に対し9項目の要請を行った。



新橋駅頭宣伝行動



田町駅頭宣伝行動

公明党では、里見隆治参議員(労働局長)・三浦のぶひろ参議員(選対委員長)・伊藤孝江参議員に団体渉外部・公明新聞・秘書の方に参加して頂き、JR発足39年になる中、安全・サービス問題や地方交通線問題など山積している課題について尽力して頂くことを強く要請した。

◆駅頭宣伝行動 駅頭宣伝行動は雨の降る中、新橋駅と田町駅の2個所で取り組んだ。新橋駅頭宣伝行動では、丸谷豊美執行委員長・鈴木郁夫執行委員長(本部)を責任者に、東日本本部の組合員が新橋駅SL前広場で10時30分から取り組んだ。田町駅頭宣伝行動では、

瀧口良二執行委員長・工藤拓真青年部長(本部)を責任者に、青年部、女性部と東海本部の組合員が田町駅芝浦口で10時30分から取り組み、駅利用者や通行の人々に26春闘での大幅賃上げを呼びかけると共に、JRの安全問題、地方ローカル線の問題を併せ訴えてきた。

進 進

JR東日本は3月14日に運賃改定を実施した。「鉄道事業の収益確保は厳しさを増しており、多様化するお客さまニーズ、鉄道に求められる社会的な役割を踏まえた安全やサービスの維持向上、老朽化した車両・設備の更新、激甚化する災害やカーボンニュートラル等に対応する設備投資や修繕等に必要な資金を安定的に確保することが困難な状況となっている」ことを運賃値上げの理由にあげている。▼企業が事業活動で得た利益のうち、税金や配当金などを支払った後に企業内に蓄積された資金のことを「内部留保」という。これは会計上の勘定科目である「利益剰余金」に該当し、貸借対照表の「純資産の部」に分類される。▼JR東日本の利益剰余金をみると、24年3月で2・29兆円、25年3月で2・45兆円と1年間で約1600億円の内部留保を生み出している。一方、今回の運賃値上げによる増収は約880億円と試算されている。▼本当に運賃値上げは必要だったのか。JR東日本では事故・事象が多発しているが、本当に「安全やサービスの維持向上」に努めているのか疑わしい。(瀧)

2026春闘勝利3・3中央総決起集会

26春闘で実質賃金の底上げと労働条件改善を勝ち取ろう

3月3日の国労中央総行動では、午後には東京都港区新橋の交通ビルにて「2026春闘勝利！3・3国労中央総決起集会」を開催した。

総決起集会には会場に参加した組合員に加え、総決起集会に合わせてエリア・地方・地区本部で独自集会等を取り組み、それをリモートで繋げ、26春闘を全国統一闘争として闘う決意を固めあった。

中央総決起集会は、佐藤治本部副委員長の司会で進行された。

主催者を代表して、宮崎浩則本部委員長が挨拶し、春闘を取り巻く情勢と春闘勝利に向けた決意が述べら

れた。

続いて、(一財)国労会館中央労働講座が取り組まれ、労働政策研究・研修機構の松上隆明さんを講師に、「2026春闘をめぐる情勢」と労働者の役割について

我々に課せられた最大の使命は、物価上昇に屈しない「賃金水準の抜本的な底上げ」です。

働く者が明日の生活に不安を抱き、日々の暮らしに疲弊しきつていようような職場に、鉄道の未来、そして公共交通の安全など存在するはずがありません。我々が求めている賃上げは、単なる所得の増加ではなく、鉄道労働者としての尊厳を取り戻し、次世代にこの仕事を繋ぐための未来への投資です。

一方、「鉄道の生命線」である安全が根底から揺ら

と題した講演を聴講した。

講演に続いて、岩元孝信本部書記長より、26春闘に向けた取り組みと各政党要請行動の報告が行われた。

その後、国労が取り組んでいる「公共交通を守る全国統一行動」の取り組み報告を、岡山地方本部の小林靖浩委員長、米子地方本部の倉下文明委員長からリモートで行われ、最後に会場参加の高崎地区本部の五十嵐正志書記長が行った。

6エリア本部からのビデオメッセージを受け、決意表明を北海道本部の岩村儀一委員長、西日本本部の大



工藤青年部長の団結がんばろう

北真也書記長が行い、最後にグループ会社を代表してJR東日本ステーションサービス(JESS)の竹内康裕さんが決意を述べた。

佐藤本部副委員長の閉会挨拶後、工藤拓真本部青年部長の団結がんばろうで総決起集会を終えた。

今春闘は特に再雇用者に向けて改善を勝ち取る意志統一を行ない、この間奮闘してまいりました。

同一労働・同一賃金の観点や裁判の事例なども訴えて交渉を強化してまいりました。

先輩方の想いや交渉術などを学び、参加しているJR採用者も感化され、切磋琢磨された交渉を行なっています。回答に再雇用者に特化した改善が無ければ再回答を求めていく姿勢を示し、

決意表明



西日本エリア本部・書記長 **大北真也**

により近畿地方本部で3名の組織拡大も行なわれています。今春闘は再雇用者に共に闘う同世代の仲間を増やしていただき、そしてその仲間と次は若手を変えて

納得出来ない回答には再回答を求めていく

地方における不誠実な交渉に対しては抗議も行なっていました。

闘う姿勢を見せ、仲間を増やしたいという思いで取り組んでいる組合員の奮闘

3月12日には西日本本社、貨物関西支社前にて回答押し上げ行動を計画しています。昨年はその姿を他

いである。2026年JR各社では目を覆うような重大事が相次いでいます。これは、行き過ぎたコスト削減と、深刻な人手不足に

に対し、会社側は「生活の安定」と「安全への投資」を両立させる誠実な回答を示す責任があります。

さらに今春闘では、職場

不足の現状や地域公共交通の維持を求め、持続可能な交通体系を維持する取り組みの提案などを学習し、自分事として地方公共交通の将来像について学んできております。

決意表明



JRステーションサービス(JESS)

竹内康裕 ・ 異常時訓練の充実。

決意表明



人を大切にせず、安全と地域をないがしろにする経営に未来はない

北海道工リア本部・執行委員長 **岩村儀一**

2026春闘で経営陣に対し、「人を大切にせず、安全と地域をないがしろにする経営に未来はない」ことを、突きつけなければなりません。

「団結」し、現場の怒りと願いを集約し、要求貫徹まで決して屈することなく、力強く戦い抜くことを訴えます。

その一方で、会社は増収基調です。

利用は戻り、決算では回復が示されています。しかし現場では要員不足が続

・ 休日増加と労働時間短縮。これは単なる賃上げ要求ではなく、安全を守るための人的投資要求です。

JESSで働く竹内として、仲間の声を集め、全社員の声として会社に訴えていきます。

一方、「鉄道の生命線」である安全が根底から揺ら

よる現場の疲弊に他なりません。「使命感」だけに依存し、現場を削り続ける経営はもはや限界であり、365日24時間、鉄道を守り抜く我々の技術と使命感

内の待遇改善に加え、「全国の地域公共交通を守る闘い」を重要課題として掲げています。

北海道本部は、北海道知事に対しJR北海道の人員

不足の現状や地域公共交通の維持を求め、持続可能な交通体系を維持する取り組みの提案などを学習し、自分事として地方公共交通の将来像について学んできております。

「団結」し、現場の怒りと願いを集約し、要求貫徹まで決して屈することなく、力強く戦い抜くことを訴えます。

その一方で、会社は増収基調です。

利用は戻り、決算では回復が示されています。しかし現場では要員不足が続

・ 休日増加と労働時間短縮。これは単なる賃上げ要求ではなく、安全を守るための人的投資要求です。

JESSで働く竹内として、仲間の声を集め、全社員の声として会社に訴えていきます。

地域公共交通を守る 全国統一行動取り組み報告

芸備線の「再構築協議会」も残り1年 鉄路を守るため岡山地本は闘う

岡山地方本部・執行委員長 小林靖浩



リモートで報告する小林委員長

① 地方本部労働学校 (25年10月25日)

【講師：則武透 弁護士】

- 再構築協議会での議論や鉄道ネットワークの果たす意義
- バス転換後の失敗例をあげながら鉄路の必要性を訴える
- 国民の権利である交通権を奪うことのないようにすべき
- ローカル問題は現在の日本社会が抱えているあらゆる課題に通じる
- 「人口減少」「一極集中」「環境問題」「まちづくり」
- 日本の交通政策の根本が問われている
- 究極は政治を変えなければならぬ
- ローカル線を守ろうとい

う声を上げていく運動が引き続き必要

② 新見市・根石副市長との意見交換(25年11月25日)

- 再構築協議会のメンバー異常時に全国の鉄道がつながっている意味は非常に大きく、寸断してはならない
- 鉄道ネットワークの重要性について一致
- 国が積極的に役割を果たすべき
- 引き続きお互いに鉄路を守る声を上げていくことで一致

③ 「乗って守ろう！芸備線行動」(26年2月28日)

- 実証事業で行っている増便列車に乗ってみる(新見駅〜矢神駅)
- 一般の乗客は10人程度
- 前段に新見駅前で行った行動を行う

④ 石破前首相の講演会 (26年2月23日)

岡山、鳥取、兵庫県の沿線9市町でつくっている「JR芸備線・姫新線・因美線の利用促進と存続をめざす議会議員連盟」が主催

岡山、鳥取、兵庫県の沿線9市町でつくっている「JR芸備線・姫新線・因美線の利用促進と存続をめざす議会議員連盟」が主催

「JR地方ローカル線の未来をひらく政策と地域活性化」と題し行われた。

【講演骨子】

- 欧州では鉄道インフラを公的負担とする仕組みが一般的
- 高齢化の進展や環境対策、観光振興の観点からも鉄道の役割は重要
- 路線の存続は沿線だけでなく国全体の課題として考えるべきである

路線廃止により地域の抱える課題はより深刻になった

米子地方本部・執行委員長 倉下文明

米子地方本部管内では、2018年の3月末をもって広島県の三次駅と島根県の江津駅を結ぶ「三江線・108km」が廃線となりました。

米子地方本部は、「三江線廃止反対」の方針を掲げ、沿線自治体での存続決議や署名活動・チラシ配布や宣伝行動など取り組んできました。また、廃線後は、「鉄道事業法」の改正を求めて、島根県をはじめ県内八つの

ローカル線廃止反対闘争の勝利に希望をつなぐ『先陣』として奮闘して行く

高崎地区本部・書記長 五十嵐正志



会場で報告する五十嵐書記長

JR高崎支社は2024年3月22日、関係自治体である、群馬県・長野原町・嬭恋村に対し、「単独での運営は困難」として、吾妻線・長野原草津口〜大前間

の廃線協議を申し入れました。JRや関係自治体、有識者らで構成する「JR吾妻線沿線地域交通検討会議」は現在までに5回の会合を開催し、区間利用者の約8割を占める高校生とその家族に対するアンケート調査や、軽井沢経由の新幹線を活用した実証実験についても行って来ています。アンケート調査では、通

な危機感を持たれていると、いうことを改めて感じています。また、様々な要望を頂き、ダイヤ改正の団体交渉などで会社に改善を求めてきています。

米子地方本部管内で、一番に存続が危ぶまれているのが山陰本線の宍道駅と芸備線と結節する備後落合駅を結ぶ「木次線」であり、その中でも出雲横田駅から備後落合駅の区間については、列車も一日3往復というローカル線区となっています。

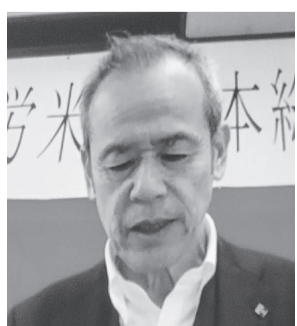
学に2時間以上かかっている高校生が半数以上の回答。4人に1人が親元を離れて高校生活を送る実態や、外出を控える状況等が判明し、JRの施策により、移動する権利や、選択の自由までもが侵害されている実態が明らかとなつています。

JR東日本はこの間、ダイヤ改正のたびにローカル線利用者に対し、乗りたくても乗れない状況を作り続けています。ローカル線切り捨ては、地方衰退に拍車をかける地方切り捨てであり、決して許すことはできません。私

たちは吾妻線の実態を全国の多くの皆さんに知っていただき、リターン品を通して地域の再発見や沿線のアピールをすることも、地域の活性化を図る取り組みとして「吾妻線廃線阻止！クラウドファンディング」を、2弾にわたり実行しています。

吾妻線沿線の住民・利用者の思いや、声と共に全国から支援いただいた皆さんの行動を背景に、JR東日本を突き上げ、全国のローカル線廃止反対闘争の勝利に希望をつなぐ『先陣』として、奮闘して行く決意です。

速報・組織拡大



リモートで報告する倉下委員長

◎近畿地方本部・京滋地域分会 大川泰貴さん33歳 2月14日付

